

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA ExwavePRO

SNC-DM160

SNC-DS60

© 2008 Sony Corporation Printed in China

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・安全のための注意事項を守る。
- ・故障したり破損したたら使用しないでください。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



警告 下記の注意を守らないと、火災や感電、落下により死亡や大けがにつながることがあります。

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている電源コードや、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に十分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因になります。

また、1年には一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などによりけがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いたところ
- ・振動や衝撃のかかるところ
- ・また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない

コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

!**注意**

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
分解禁止 内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

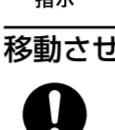
ぬれ手禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

接続の際は電源を切る

電源供給機器の電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になります。



指示

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



指示

異臭、煙がでたら電源を切る

異臭や煙が出たら、すみやかに使用を中止してください。火災や感電の原因となることがあります。電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜き、ソニーのサービス担当者までご連絡ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際に受け取ってください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上の注意

ご使用の前に

開梱してから、結露などがある場合には60分程度、放置後電源を入れてください。

データ・セキュリティについて

・ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

・ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。

・諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断について、ソニーは一切の責任を負いません。

・ワイヤレスLANをご使用にはセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生した場合には、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。また、記録されたデータの損失、修復の責任も負いかねます。

・必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用し、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるわざ、補償はいたしかねますのでご了承ください。

・本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について

本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正に取り扱いください。

・本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

・壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に十分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因になります。

使用・保管場所について

非常に明るい被写体(照明や太陽など)を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

・極端に暑いところや寒いところ(使用温度は-30°C~+50°C)

・暖房器具の近く

・強い磁気を発するものの近く

・強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

・強い振動や衝撃のあるところ

・ほこりの多いところ

・蛍光灯や窓の反射の影響を受けるところ

・不安定な照明の下(フリッカー)を起こします。

本機内部にはヒーターが内蔵され、内部温度が低下すると自動的に動作します。環境によっては、ドームカバーに付着した雪や霜を解凍出来ない場合があります。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などによりけがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いたところ
- ・振動や衝撃のかかるところ
- ・また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない

コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

指示

使用温度について

すでに電源が入っている場合、カメラ本体に内蔵されたヒーターにより-30°C~+50°Cの範囲で動作が可能ですが、必ず外部温度が0°C~+50°Cの範囲で電源を入れてください。

放熱について

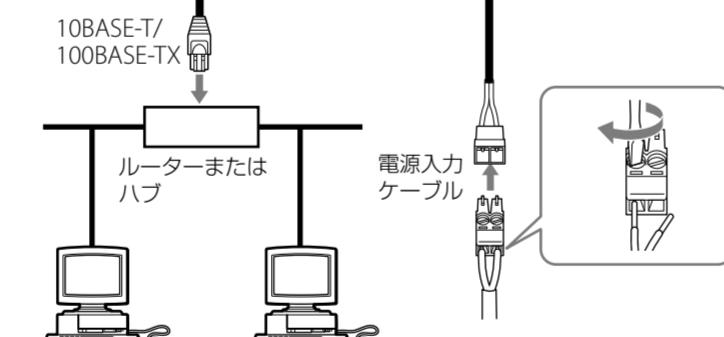
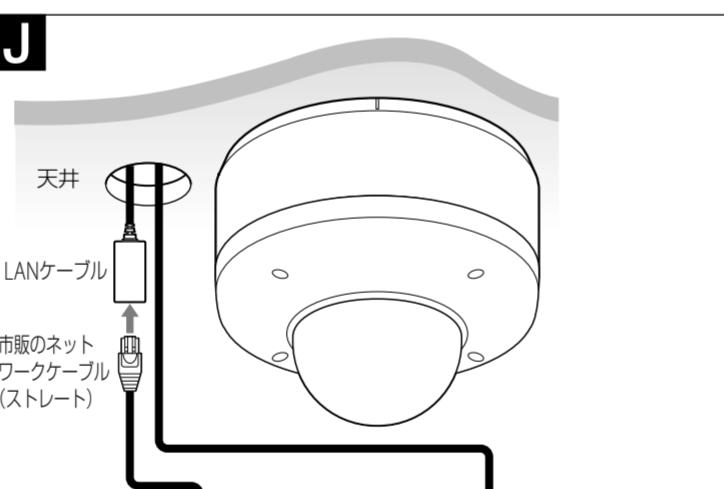
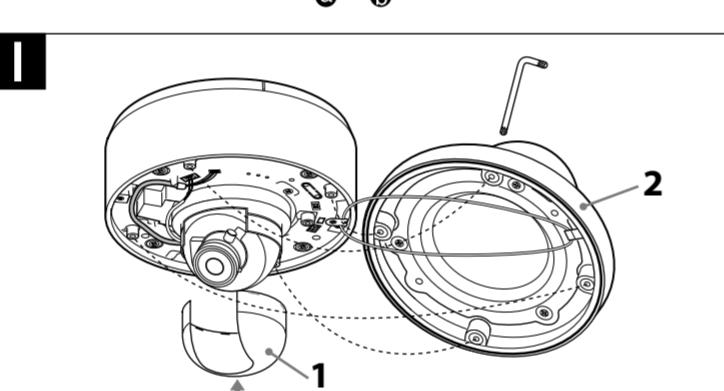
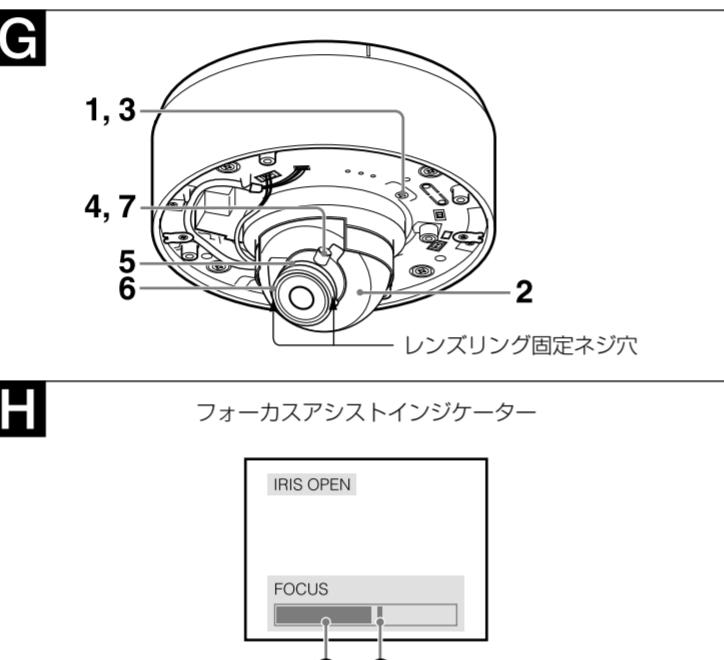
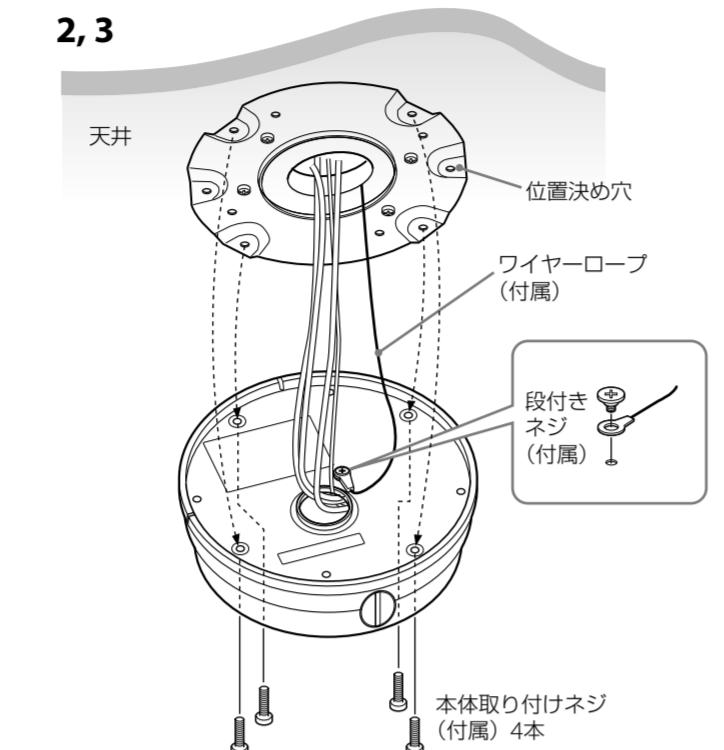
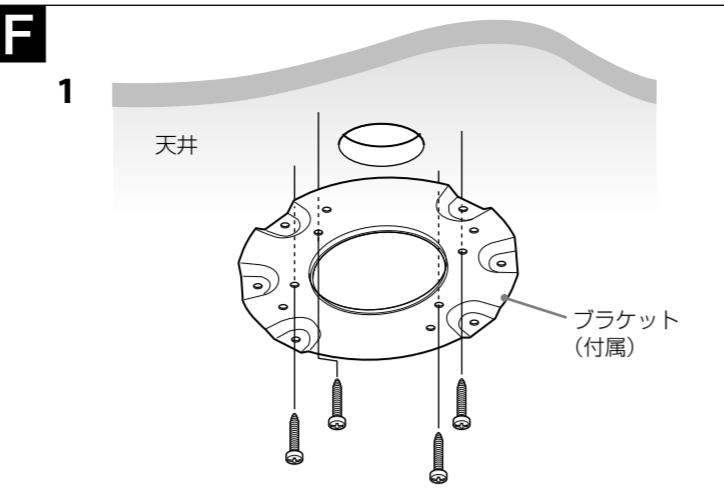
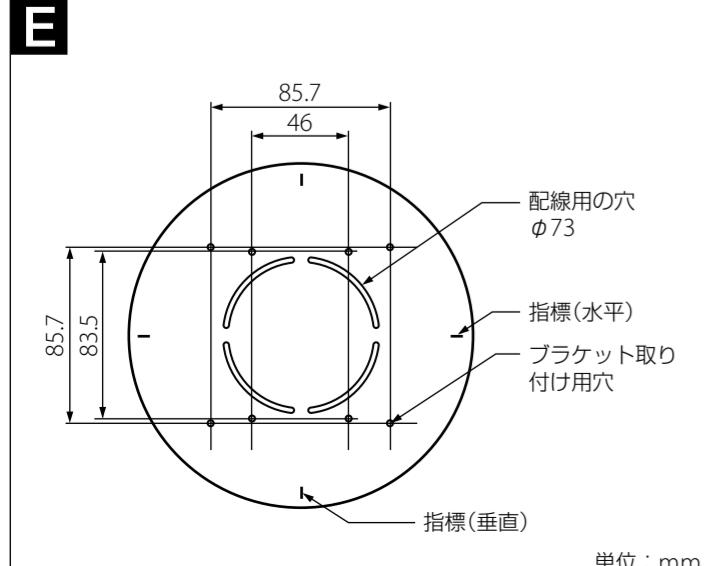
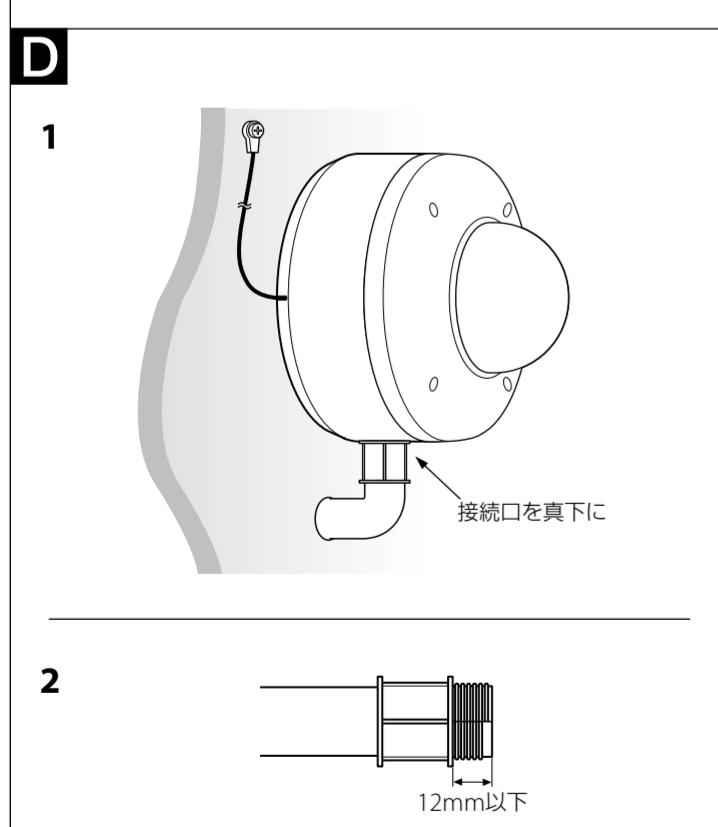
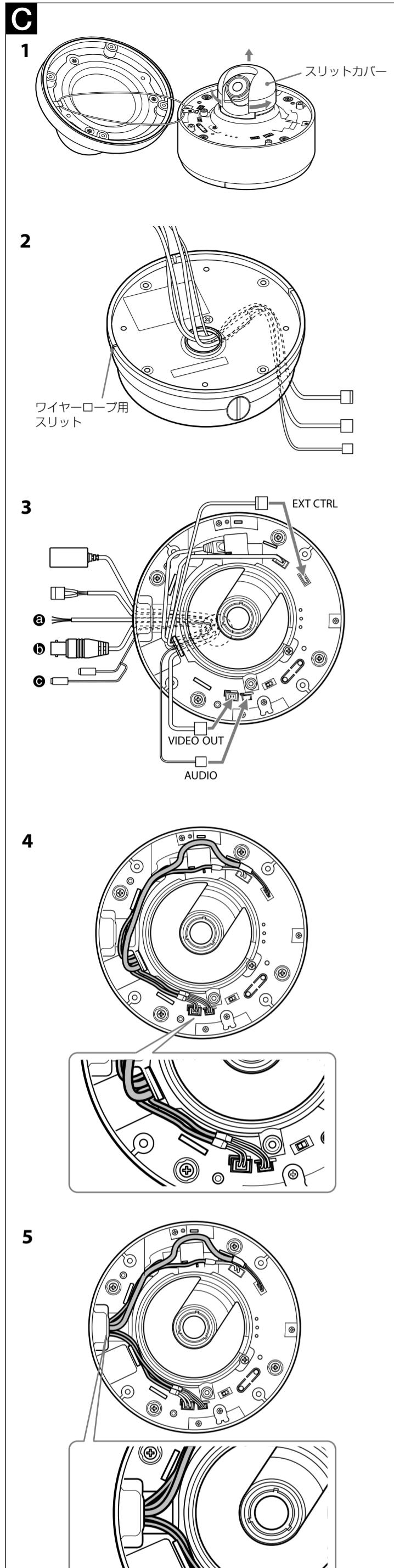
動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

・持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。

・輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて



準備

カメラにケーブルを接続する

設置の前に、ご使用環境に合わせ、必要な付属ケーブルをカメラに接続し、配線しておきます。

1 ドームケースとスリットカバーをはす。

付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をゆるめ、ドームケースをはずしてください。また、スリットカバーを外側に広げるようにして取りはずしてください。

2 使用するケーブルをカメラ底面の接続口から通す。

◆ケーブルを側面から引き出すときは、「側面の接続口を使うには」をご覧ください。

3 ケーブルを端子に接続する。

① I/Oケーブル：EXT CTRL端子へ

② BNCケーブル：VIDEO OUT端子へ

③ オーディオケーブル：AUDIO端子へ

4 ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。(C-4)

5 底面側から軽くケーブルを引いてケーブルのたるみをなくす。

側面の接続口を使うには

出荷時は底面の接続口から電源ケーブルとLANケーブルが接続されています。側面の接続口から引き出した場合は以下の手順に従ってください。

① 側面の接続口カバーをはずす。

② 各種ケーブルをコネクターからはずし、底面の接続口からケーブルを取り出す。

③ 必要なケーブルを側面の接続口から差し込み、コネクターに接続する。

④ ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。(C-5)

⑤ はずした接続口カバーを底面の接続口に取り付ける。

ご注意

• 底面の接続口が汚れていると、接続口カバーがうまく取り付けられず、カメラ本体に雨などが入り、故障の原因になります。柔らかい布などで汚れを拭き取り、しっかりと締めて取り付けてください。

• 雨などを防ぐため、バイヤーカバーを取り付けたあとに、シリコンシーラントなどで密閉してください。

• 雨などを防ぐため、壁などに縫に取り付けるときは、側面の接続口が真下に来るよう取り付けてください。(D-1)

• カメラ本体の内部が傷つかないように、バイヤーカバーはネジ部分が12mm以下の中のを使ってください。(D-2)

設置

△警告

- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材(付属品を除く)が15kg以上の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 天井へ設置した場合は、「1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める

カメラの撮影方向を決めながら、付属のテンプレートを使って配線用の穴(Φ73mm)をあけ、ブラケット取り付け穴(4か所)の位置を決めます。

取り付けネジについて

付属のブラケットにはΦ4.5mmの穴が8か所あります。このうち、4か所を使ってブラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。) 銅材の場合：M4ネジとナットで固定してください。

木材の場合：タッピングネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15mm以上必要です。

コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。

ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

△警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

カメラを取り付ける

1 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。

使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。

2 付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。

① 付属の段付きネジで、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。

② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。

カメラを壁面に設置するときは、ワイヤーロープ用スリットにワイヤーロープを通してください。(D-1)

3 付属の本体取り付けネジ(4本)でブラケットにカメラ本体を取り付ける。

ネジには脱落防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落しません。

カメラ本体を回して、カメラ底面の突起がシリーリングブラケットの位置決め穴に力合つとはまるようにします。突起は90°ごとに4か所ありますので、カメラの向きを4方向に設定できます。

ご注意

天井や壁に取り付けネジを使えない場合や、カメラ本体を目立たせたくない場合は、天井埋込み金具YT-ICB45(別売)をご使用ください。

撮影方向と撮影範囲の調整

1 カメラヘッド固定ネジをゆるめる。

2 カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。

3 カメラヘッド固定ネジを締めてカメラを固定する。

4 レンズリング固定ネジをゆるめる。

5 ズームリングを回して画角を決める。

6 フォーカスリングを回してピントを合わせる。

ミニターミナル画面に表示されるフォーカスアシストインジケーターを利用するとピント合わせが簡単にできます。「フォーカスアシスト機能」(下記)をご覧ください。

7 レンズリング固定ネジを締めて、ズームとフォーカスを固定する。

8 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1～7を繰り返す。

ご注意

- カメラヘッド固定ネジをゆるめずにカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。
- カメラヘッドの動きが重く調整しにくい場合は、スムーズに動くまでカメラヘッド固定ネジをゆるめてください。
- カメラヘッド押えの切り欠き部にレンズが入っていないと、カメラヘッドの可変範囲が制限されます。
- レンズを360°以上回転させないでください。内部の配線が破断される恐れがあります。
- レンズリング固定ネジのネジ穴は、120°間隔で3か所あります。カメラヘッドの向きによってレンズリング固定ネジが調整に支障をきたす場合は、いったん取りはずして他のネジ穴に付け換えて調整してください。
- 角度調整をする場合は、カメラヘッド部に刻印されているTOPを天井側に設定してください。TOPの刻印を床側に設定すると、映像が逆さまになります。

フォーカスアシスト機能

1 VIDEO OUTスイッチで、使用するビデオモニターに合わせてカメラの動作モードを切り換える。

2 IRISスイッチを押し、アイリスを開放する。

ミニターミナル画面にIRIS OPEN表示とフォーカスアシストインジケーターが表示されます。

フォーカスの合った度合によりバー②の長さが変わります。②はピークホールド値を示します。

3 フォーカスリングを回し、バー②がピークホールド値③に達するように調整する。

ドームケースを取り付ける

1 スリットカバーを取り付ける。

ご注意

- スリットカバーは、カメラマウントから少し浮いたところが正しい取り付け位置です。無理に押し込まないでください。
- レンズリング固定ネジが邪魔になってしまってスリットカバーが取り付けられない場合は、レンズリング固定ネジを別のネジ穴に取り付けてください。
- レンズリング固定ネジのネジ穴は、同心円上に3か所あります。

2 ドームケースとカメラ本体を固定する。

ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ(4か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をしっかりと締めます。

ご注意

コードが、ドームケースとカメラ本体の間にさまらないように注意してください。コードを回して、ドームケースをカメラ本体に取り付けるときの位置を調整してください。

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANケーブルとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANケーブルとコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12 V
- AC 24 V
- IEEE802.3af準拠の電源供給装置(PoE*方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意

電源入力ケーブルとLANケーブルの両方から電源が供給された場合、LANケーブルからの電源が優先されます。

DC 12VまたはAC 24V電源への接続

本機の電源入力ケーブルをAC 24VまたはDC 12Vの電源供給装置へ接続します。

- DC 12VまたはAC 24Vは、AC 100Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。

DC 12V : 10.8 V ~ 13.2 V

AC 24V : 21.6 V ~ 26.4 V

- DC 12VまたはAC 24Vの配線には、ULケーブル(VW-1 style 1007)を使用してください。

IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続

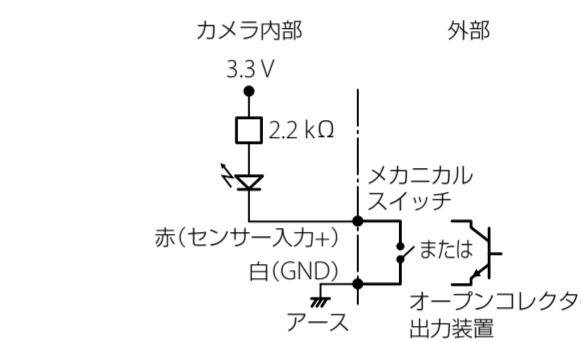
IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

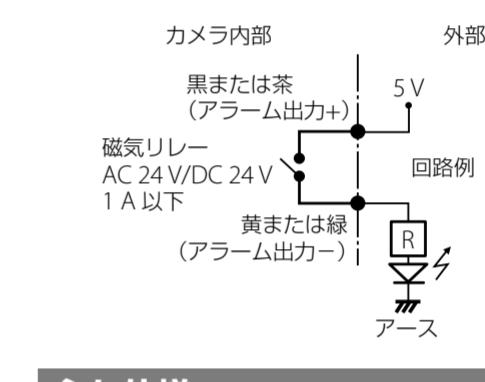
I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクタ出力装置



アラーム出力への配線図



主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式 JPEG/MPEG4

音声圧縮方式 G.711/G.726 (40, 32, 24, 16 kbps)